

# 広土会新聞

## 第19号

2015.3.1 発刊

発行所 広島工業大学 広土会  
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1  
TEL 082-921-3121

## 巻頭言 「災害に負けないために」



広土会会長  
十河 茂幸

2014年は、公共工事が増加し、景気がやや上向きとなることを期待する一面と、土砂災害、火山の噴火被害など激甚災害で暮れた年でもありました。2015年は幸多き年になることを祈念いたします。

### ◆建設業界の景気は上向くか

アベノミクスが功を奏したかは、未だ結論を得ない状況です。第3の矢が射るか否かは、これからの政策によるところが大きいようです。大いに期待したいのですが、関東を中心の建設ラッシュは、地方には対岸の出来事のように感じてしまいます。逆に技術者の流出と、景気低迷時の建設技術者離れからの技術者不足、資材不足が価格の高騰を招き、従来の発注では利益につながらず、不調が続出しています。

中央と地方の格差が広がった感があります。災害に強い社会を築くには大いなる課題と思います。

### ◆広島市の土砂災害

昨年は広島市内の豪雨による土砂災害で74名の方が亡くられました。社会の安全・安心・快適を目指す土木技術者にとっては、災害を防止あるいは減じるために行動することの重要性を感じざるを得ない出来事でした。安全・安心・快適な社会を築くために効果的な発注を促す行為も必要です。社会に訴える行動も大切だと思います。大学としては、社会を良くするように仕掛ける技術者の育成に努めたいと考えています。

### ◆都市デザイン工学科の改名

「土木」の印象が悪いことを一つの理由にして、土木工学科の名称から、建設工学科、都市建設工学科、都市デザイン工学科へと改名を繰り返してきました。「土木」の重要性をむしろ前面に出す必要性を感じ、環境土木工学科に改名することが検討されています。単純に土木工学科に戻すには、外から見ると未だ抵抗があるようです。

土木のイメージを改善する行動が必要です。そんな中、土木技術者を目標として入学する学生は、久しぶりに定員

を超えた昨年でしたが、現状はやや定員に満たない状況です。土木に興味を持つ学生を集め、一人でも多くの土木技術者を育てたいと努力を重ねています。

### ◆広土会支部大会に参加して

昨年、関東支部の広土会に参加させていただきました。土木工学科卒業の1期生から10期生までの先輩方が多く参加され、若手の後輩を応援したいとの話を得ましたが、卒業後から10年未満のOBの参加は少なく、広土会の高齢化を感じました。若い技術者は悩みも多いと思いますが、先輩方の適切な指導、支援を受けられることは、とても有益なことと思います。広土会の結束を固められることを期待して止みません。多くの方が参加できるよう、呼びかけをお願いいたします。メールやLINEを活用して皆さんで参加してください。



大地と大地に明日を築く・・・

**AOKI**

総合建設業

**株式 青木組**

本社 〒722-0035 広島県尾道市土堂二丁目八番十四号(青木ビル)  
TEL(0848)23-3131 FAX(0848)22-8371  
東京本店 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-4-2  
KDX茅場町ビル  
TEL(03)3665-9621 FAX(03)3665-9622  
営業所 福山・岡山・川崎・東北

総合建設業



**占部建設工業株式会社**

代表取締役 占部 誠

本社 〒720-0816 福山市地吹町18番16号  
TEL(084)922-1254 FAX(084)922-1276  
広島支店 〒738-0004 廿日市市桜尾二丁目8番3号  
TEL(0829)32-1224 FAX(0829)32-8779  
井原営業所 〒715-0022 井原市下出部町二丁目22番4号  
TEL(0866)67-1300 FAX(0866)67-1215  
広島営業所 〒731-5135 広島市佐伯区海老園4-4-44  
TEL(082)921-2617 FAX(082)921-5443

**KATO**  
Construction Co., Ltd.

**株式会社 加藤組**

〒728-0013 広島県三次市十日市東一丁目8-13  
TEL(0824)63-5117 FAX(0824)63-5100  
<http://www.kato-gr.com>

## 退任のあいさつ



### 退任のあいさつ

工学部 都市デザイン工学科  
教授 上嶋 英機

「10年間お世話になりました。」

初めまして。都市デザイン工学科で環境分野の講義を担当していました上嶋です。広土会の皆様にはご挨拶が退職のご挨拶となり申し訳ありません。「都市デザイン工学科」は5年前の平成22年に都市建設工学科より更新されてから環境修復・再生の分野を担当することで環境学部の「地域環境学科」から転任してきました。この大学にお世話になったのは平成17年4月からで、最初は環境学部・環境デザイン学科に着任し、翌年の平成18年4月から新設学科の「地域環境学科」に移動しました。従って、平成27年3月末までの10年間に3学科に在任し、この間の環境に関連した講義科目はかなりの数となりました。都市デザイン工学科には大学在任期間の半分をお世話になり深く感謝いたしています。

私は、この大学にお世話になる前に「産業技術総合研究所（略：産総研）」に34年間勤務していました。産総研の前身は経済産業省工業技術院中国工業技術研究所でした。呉市の広町に世界最大級の瀬戸内海大型水理模型が作られ、瀬戸内海の水質汚濁メカニズムと環境改善技術の開発、そして環境再生のためのミチゲーション技術の研究を行ってきました。アナログシミュレータとして最大規模（水平縮尺1/2000・面積16,500m<sup>2</sup>）で最高精度を持つ瀬戸内海大型水理模型でした。この模型での実験と現地での実証研究や機構解明のための現地観測を瀬戸内海全域で実施してきました。最大の成果は瀬戸内海の海水交換時間が約1年半であることを明らかにしたことでした。この研究に、広島工大の優秀な学生さんが毎年2～3人が1年間研究所に派遣されて、一緒に水理模型実験や瀬戸内海の環境調査を行いました。6年間で15人の学生さんが学会でも最前線となる卒業研究を行ったことである。今思えば、ワープロやパソコンの無い時代で論文はすべて手書きでした。3日間の徹夜で朦朧としながら論文の清書していた姿は忘れることがありません。今は立派な公務員となり幹部になって頑張っています。

私は、海洋学分野の環境科学や海洋工学を専門として研究してきました。開発や自然災害により破壊されて、痛んだ環境を復元・修復して自然を再生する技術を環境修復技術（ミティゲーション技術）といいますが、1990年代から日本でも研究開発が進展し、2002年には自然再生推進法の成立により、河川や海で事業が展開されるようになりました。本学科では現在「環境修復学」、「自然再生」等の講義科目がカリキュラムに在りますが、今後、更新が予定されている新学科においては、地球環境規模の異常な災害への防災や環境修復の技術が大変重要な課題となります。

本大学は瀬戸内海においても最も重要な位置と役割があり、新学科が瀬戸内海の健康な地域環境を再生、構築することが期待されます。海陸一体とした環境創造に向けて一層の教育と研究の取り組みを期待して退職のご挨拶と致します。有り難うございました。



### 退任のあいさつ

工学部 都市デザイン工学科  
准教授 三好 孝治

広土会は創立47周年を迎え、これまで多くの卒業生や教員のための土木建設技術の向上や会員の親睦に貢献されています。私は環境学部地域環境学科から工学部の当学科に移籍した際に広土会に入会しましたので、会員歴は5年程度ですが、退任にあたり挨拶をさせていただくことになりました。

私の研究分野は「紙地図のデジタル化とその活用」です。広島大学で「白地図の特徴を活用した等高線および建物の抽出に関する研究」で学位を受けました。その内容は、知的情報技術と道路設計CADの2つの分野にまたがる研究です。3次元道路設計CADの機能拡張に貢献できるものであることから、土木学会の計画部門に所属して論文を投稿し、3篇ほど採録してもらいました。紙地図のデジタル化、幾何補正、地物の自動仕分けと抽出、および等高線地図からの3次元地形面の生成などの研究は、2次元の地図から3次元景観CGを生成する技術であり、この分野における先駆者と言えるものでした。

3次元CADシステムの開発の基礎となる研究に関わっている立場から、「3次元景観設計」の授業を担当しました。複雑なCAD操作を限られた時間内で効率的に習得させるため、数年がかりで方法論とマニュアルを作成し、学生を指導しました。また本学科では、近年GISの普及に伴い「GISと土地利用」が開講されました。担当教員として、土地利用の変遷を主な題材とし、歴史GISの分野を取り入れて、特徴ある地域の歴史・文化に基づいた都市計画、都市デザインの必要性を講義しました。機能的な面に片寄らず、日本の伝統を尊重して欲しいからです。

もう1つ力を注いだ研究は、モバイル機器を活用した町歩きシステムの開発です。文献研究、卒業研究の課題として、学生と共に取り組んできました。地域に伝わる絵図や古地図を基に廿日市宿、宮島町家通り、広島城下の3地域における町歩きを実施しました。江戸時代の絵図上を歩き、現在の町と比較しながらおこなう歴史散策は、地域の変遷を知る上で有益でした。これらの教育と研究を通じて得た経験や知識を、今後何かの形で社会に活かせればと考えています。

本学から近く、長年研究対象地域としてきた廿日市市では中央市民センターの建て替えのために、古い建物が取り壊されました。更地となった跡地には、前身である佐伯郡役所のときからあった楠木だけが切り倒されることなく残されています。この木は、地域の歴史を物語る貴重な存在です。私の講義内容もこの木のように、学生達の心に残り、今後の都市計画、都市デザインにおいて役立ってくれることを期待しています。

## 新任のあいさつ



### 新任のあいさつ

工学部 都市デザイン工学科  
助教 大村 訓史

昨年2014年4月に都市デザイン工学科に物理教員として着任しました大村訓史です。

よろしくお願い致します。“物理”教員というと、どこへ行ってもどうしても敬遠されがちですので、すこし寂しいです。しかし、私の専門は典型的な物理とは違い、コンピュータシミュレーションを使う、シミュレーション物理学と言われるものです。理論、実験物理学につづく第三の物理学と言われています。実験を行うことが困難な現象や、

実験では見ることでできないデータをスーパーコンピュータを用いて計算機シミュレーションを行い、様々な問題へアプローチしています。少し前に話題になった京コンピュータなどを使って研究しています。

私の生まれは熊本県です。高校時代は水中の格闘技と言われる“水球”に日々汗を流していました。朝は6時から朝練、夜も8時9時まで練習と、一日中大いに鍛えてもらいました。この水球で鍛えた体力や精神力が今の仕事にも活かされていると思います。その後、熊本大学へ進学し、物理を学びました。実は大学3年生まで自分は高校教師になりたいとずっと思っていました。それが大学の卒業研究があまりにも楽しく、そのまま大学へ残りました。

学位も熊本大学で取得し、その間アメリカの南カリフォルニア大学で研究をしました。英語もろくに話せないまま渡米し、しかも治安の悪い場所に住み、今考えてもぞっとするほど大変でした。しかし、そこで多くの友と出逢い、色々なスキルを身に付けることが出来き、人生観も大きく変わりました。学位取得後、京都大学で二年間の研究生活を送り、広島工業大学へ着任いたしました。

広島工業大学では、土木工学の専門知識の基礎となる物理学の講義を担当します。自分のこれまでの経験と知識を活かして、学生の土木技術者としての知的基盤形成に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

## 支部だより



### 近況報告

関西支部 片山ストラテック(株)  
菅原 勇人 (40期生)

私は、平成20年3月に工学部建設工学科を卒業しました第40期生の菅原勇人です。卒業後、片山ストラテック株式会社に入社しまして、早7年が経とうとしています。

入社後、3年間は設計部に所属し、主にNEXCO等の詳細設計業務を担当しておりました。入社4年目からは営業部に配属となり、現在は国交省案件を中心とした積算業務を担当しております。もともと橋梁メーカー志望ということもあり、大学でも橋梁について学んでいたのですが、いざ働くとなると大学で学んでいるのとは勝手が違い、基本的な専門用語がわからない等、橋梁に携わる者としての自分のレベルの低さを痛感させられる毎日でした。それでも、先輩や上司、あと客先の方にご迷惑をかけながらも、必死に橋梁について学び、多くの失敗を経験していくことで、少しずつではありますが成長できているのかなと思います。それに、自分が携わった工事が完成していくにつれて充足感を感じることが出来、また一段と頑張ろうと活力を貰っています。子供のころから橋梁に携わった仕事がいざとこの世界に飛び込み、当初は設計、現在は積算と工事に携わる形は変わりましたが、今後も自分にできることを精一杯頑張っていきたいと思っています。

さて、平成26年9月6日(土)に大阪市内におきまして、総会及び懇親会が開催されました。今年は、関西支部で支部長会議が行われるということもあり、普段参加していただけの方だけでなく、大東先生、村中先生の広島工業大学関係者をはじめ、各支部の支部長の方々にもご出席いただき、私も幹事の一人として参加させていただきました。普段お会いすることのない諸先輩方とお話できる貴重な機会でもあり、有意義な時間を過ごさせていただきました。

最後になりますが、広島工業大学の益々の発展と、広土会皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、近況報告とさせていただきます。



株式会社 神崎組

取締役社長 神崎 文吾

本社 姫路市北条口三丁目22番地  
TEL 姫路(079)223-2021(代表)  
FAX 姫路(079)281-8191  
支店 大阪  
事業所 教賀・三木・但馬・岩国

心の映像カタチにします  
建設クリエイター

総合建設業



株式会社

栗本

代表取締役社長 前川 拓也

〒733-0035

広島市西区南観音7丁目14番20号

TEL (082) 293-8500

FAX (082) 295-8231

【営業所】 岩国・安芸高田

http://www.kurimoto-gr.co.jp



株式会社 鴻治組

〒736-0082

広島市安芸区船越南一丁目2番6号

TEL : (082) 822-5211

FAX : (082) 824-0675



集合写真



## 近況報告

島根県支部長 松江市役所  
寺沢 祥司（13期生）

今年度から島根県支部長を原前支部長（10期）から引き継ぎました13期の寺沢です。

島根県支部の活動は年数回の役員会、先進事例などの見学会、工大から先生を招いての総会等です。今年度の総会には大東先生をお迎えし11月22日開催しました。5期から43期まで18名の参加で土木関係の話だけでなく島根県支部のメンバーの近況など色々な情報交換を行いました。島根県支部は以前から島根県の全域からあるいは現場の関係で島根県に来られている人など地域・世代を超え親睦が行われてきました。これも島先生やこれまでの支部長の方々、長くお世話をいただいたカナツ技研工業(株)平野事務局長（23期）のおかげと感謝しています。この伝統を上山新事務局長（28期）と引き継いでいきたいと考えています。

私は工大では二神先生の環境ゼミで環境関係を学びました。合わせてソフトボールや公務員試験の勉強もたっぷりした記憶があります。おかげさまで出身の松江市隣接である玉湯町役場に就職し下水道関係に15年携わりました。

その後は都市計画関係が主な仕事になりました。平成10年度からは国道9号玉湯工区の改良事業のPI（パブリックインボルブメント）方式を担当し、平成17年度松江市との平成の大合併後は各拠点のまちづくり計画を立案し特に出身である玉造温泉の基盤整備事業を行いました。

今年度からは古巣玉湯支所の地域振興課に配属になりました。これまで進めた事業の成果を実感しているところです。規模が縮小していく支所で地域振興課長は観光振興室長も兼務しております。広土会の会員の中で観光関係に携わっている人は数少ないと思われます。楽しそうに思われますが、例えば玉造温泉街に作りました姫神広場の足湯で若い女性に声をかけ感想を聞こうとしてもなかなか会話が進まず苦戦をする日々を送っています。

自己紹介は以上にして島根県の近況報告を行います。昨年の島根県の重大ニュースは

(1) テニス錦織圭選手の活躍に県民熱狂（通年）

松江市出身のプロテニスプレーヤー錦織圭選手が全米オープンで準優勝し、年間上位8人によるATPツアー・ファイナルで4強入りしました。今年も全豪オープンでベスト8に入り今後も活躍を期待しています。

(2) 高円宮典子さま、千家国麿さん結婚（10月）

高円宮家の次女典子さまと、出雲大社の千家国麿（くにまろ）さんの結婚式が10月5日、出雲大社で行われ、縁結びの地・出雲は祝福ムードに包まれました。皇族の結婚式は05年以来。「平成の大遷宮」でにぎわう出雲大社にあらためてスポットが当たりました。

(3) 県人口が70万人を割る（4月）

昭和30年をピークに93万人いた人口が減少しています。70万人割れは、国勢調査による人口統計が残る1920（大正9）年以来初めてです。

以上がベスト3でした。明るいニュースもありますがやはり人口減少が島根県の課題となっています。地方創生の総合戦略においては、東京一極集中を是正する、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、地域の特性に

即して地域課題を解決するという基本的な視点の下、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立により、活力ある日本社会の維持を目指しています。そういったなか、松江市中心部のまちづくりはヨーロッパや他の自治体の成功事例をそのままねて苦戦しています。玉湯町のような地域特性を生かしたまちづくりを進めないで地方創生は無いと実感しています。工大の先生方も是非学生の皆さん方に地方の良さを伝えていただき特に島根県での就職を奨めていただければ幸いです。

最後になりましたが、広土会の益々の発展と皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたすとともにぜひ島根県へお越しいただきたいと思います。



## 近況報告

県北支部 副支部長 (株)加藤組  
加藤 雅規（17期生）

広土会広島県北支部は、1989年の発足以来25年間に渡り広島県の北部地域を中心に活動しております。主な活動である毎年の総会では、大学より来賓の先生を迎え20名程度が集まって交流を行っています。総会後の懇親会では、三次ワインや鮎、松茸といった旬の食材を使った料理に舌鼓を打ちつつ、県北地域で活動されているグループによるアトラクションの鑑賞や、ビンゴゲームで盛り上がっています。更に、二次会では小さな三次（みよし）の街にもかかわらず、M理事の普段のリサーチが効いて意外な楽しさと喜ばれています。

県北地域ではこの地域をリードして来た土木事業である尾道松江線の全線開通を控え、次期プロジェクトを模索している所ですが、河川の整備、橋梁の補修、交通網の整備、最近注目されている森林環境の整備など、やるべき仕事は多く若手の育成や技術の伝承が急がれています。公共事業を行うためには、生コンや碎石などの材料が現地で調達できること、人材が揃うこと、そして公共投資できる環境づくりが大切です。高齢化社会の備北地域ですが、地域が健全であるためには、人が健康であることが一番と考えます。

自分自身の健康管理としては、昨年11月から1kmの通勤を徒歩に切り替え、往復で約3,000歩の底上げを行い、iPhoneのアプリを利用して一人ラジオ体操を行なっています。

私は、在学中スキー部に所属して毎日夕方1～2時間の陸上トレーニングに取り組み、シーズン中はスキー場でのアルバイトや合宿で約50日間を雪上で過ごし、アルペン競技やクロスカントリーに出場していました。もうすでに30年ほど前になりますが、あの4年間に培った体力がその後の自分を育て、今の自分を支えていると思います。

現役の学生のみなさんには、知識はもとより、社会に溶け込む為の徳育、元気で働ける体力を育てて欲しいと思います。また、諸先輩方も県北地域におられましたら、是非とも広土会へ参加して県北支部を盛り上げてもらいたいと思います。

末筆ながら、広島工業大学の益々のご発展並びに関係諸氏のご健勝をお祈り申し上げます。



## 近況報告

県東部支部 (株)青木組  
柴田 高志（39期生）

私は、平成19年3月卒業の柴田と申します。広島県尾道市に本社をもつ、株式会社青木組に勤務しており、入社して9年目を迎えるようとしています。

陸上・海上工事のどちらも担当しており、難しい局面も多々ある中で、日々楽しい仕事をさせて頂いております。特に、中でも昨年、現場代理人として担当した、厳島港(宮島口地区)で、旅客フェリー桟橋を一日の時間内で移設す

る工事がありました。制約の条件として『フェリーの運航を妨げてはならない』、作業は全て夜間に行い、翌日の朝6時には、桟橋の移設を完了させなければならないという厳しいものでした。

一方、着工当初は、フェリーを運休して頂かないと、一晩での桟橋移設は到底出来ないかと苦慮していました。しかし、顧客である発注者及び旅客船運航会社や協力施工業者と打合を繰り返し、綿密なタイムスケジュール組み、シュミレーションをしていく内に、『出来ないかも』という、不安から『出来るよ』という確信に進展していきました。

工事に携わった全員が、移設を『成功させる』と同じ方向にベクトルを合わせ、力を集中すれば厳しい難題もクリアできると興奮したのを覚えています。

おかげで、この工事を無事故で完工する事が出来ました。これまで色々な現場を担当する度に知識が増え、顧客や業者との会話が広がっていき、それに合わせて仕事も好きになっていく、とても魅力のある職種だと思っています。私の目標は、どんな現場でも、誰に頼らず自信をもって、安全に注意しながら、迅速かつ正確な対応が出来るようになることです。その為に自分がより進化しなくてははいけないと感じております。

今後とも初心を忘れずどんな困難にも、打ち勝てるよう日々精進に努める所存です。

終わりにりましたが、広土会の繁栄と広土会員皆様のご健勝・ご活躍を心からお祈り申し上げます。



## 近況報告

広島西支部 佐北建設(株)  
原田 真治（17期生）

みなさん、お仕事ご苦労様です。17期卒業の原田真治です。どこか昔聞いたような名前の私ですが、全然名があるような人物ではありません。

私は、卒業後東京のフジタ道路(株)に入社し、7年間勤務したのち当時上司であった営業所長に誘われ、上司の会社設立に参加しました。

会社設立当初は、私の技量でどこまで出来るか模索しながら一生懸命働いていましたが、なかなか上手くいかず、よく元請けの部長などから怒られていたものです。

怒られながらも、人一倍負けず嫌いの私は「コノヤロー今に見ていろよ」という気持ちで、仕事をこなしていました。時には元請けさんと口論などして気まずい思いもしていましたが、その内信頼も獲れるようになり元請け会社では、一番の下請けになり徐々に会社も規模を拡大し、役所の指名業者になるまでになりましたが、7年目に私事の為に退社することになり急ぎょ広島に戻りました。

広島に戻ってから今の会社が2社目になり17年目になります。

帰広した当初は仕事の内容も黒いものから白いものに変わり、一からのスタートになり戸惑うことが多かったですが、関東とは違い仕事のリズムが違った（遅い？）ことに助けられ案外早く慣れることが出来た反面、慣れてからは少し物足りなさがありましたが楽なことには体が順応してしまい、いざというときにはなかなか対応しづらく苦労したのが反省点です。

話は変わりますが、私は犬が好きでその為に一戸建ての中古住宅を購入しました。

家を購入し引っ越した次の日に犬を知り合いから安くウェルシュ・コーギーの子犬を購入したほどです。その後、結婚したときに連れ犬（トイプードル）が増え人生初の犬の多頭飼いを経験しましたが、その年にトイプードルが亡くなり悲しい思いをしました。

一度多頭飼いをすると一頭では物足りなさがあり、数か月後にはボメラニアンとチワワのミックスを購入し、また多頭飼いはじめましたが、去年の夏にはコーギーが亡くなりまた一頭になったのですが、懲りずに犬のみなしごセンターでトイプードルを譲り受け多頭飼いをしています。



**山陽工業株式会社**

SANYO CONSTRUCTION CO. LTD.

広島市中区十日市町1丁目1-9 〒730-0805  
TEL(082)-232-6471 FAX(082)291-2233  
http://www.landingsanyo.co.jp/

夢から感動へーハートテクノロジー



**東洋建設**

本社 〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-24  
TEL 03-6361-5450  
中国支店 〒732-0052 広島市東区光町 2-6-24  
TEL 082-205-5050



総合建設コンサルタント  
株式会社 **ヒロコ**

代表取締役社長 **下 花 眞 二**

本社 〒734-0011  
広島市南区宇品海岸三丁目13番28号  
TEL(082)250-8515(代表)

今では、趣味は何かときかれれば、犬と遊ぶことになりま  
す。  
それでは、健康に留意し楽しい人生を皆様送りましょう。



近況報告

広島県支部 (株)マシノ  
松田 和之 (37期生)

私は平成17年に卒業した37期の松田と申します。卒業後は、地元広島でマシノ工業(株)(現在は(株)マシノ コンクリートグループ)に営業として入社し、現在10年目を迎えました。歳を重ねるごとに諸先輩方の築かれてきた功績などを感じつつ日々仕事に精進しています。  
業務内容は、BOXカルバート、L型擁壁(宅造・道路)、側溝などのコンクリート二次製品を製造・販売。国や地方自治体や土木建設コンサルタントへの技術提案などを行っています。  
さて、今回は近況報告という事で、コンクリート二次製品の現状をお話しさせていただきます。  
日本は地震が多い国という事で以前から多くの分野で耐震対策が進められています。BOXカルバート(以下BOX)においても耐震設計を求められるケースが多くなっています。従来のBOX同士を剛体化(PC鋼材による一体)＋適所に可とう継手を設置して耐震要求を満たすパターンに加え、BOX同士の継手自体に可とう性を持たす事で耐震要求を満たすタイプが登場しました。後者の製品は販売開始から数年が経ち、多くの現場へ出荷されています。  
宅造用L型擁壁については、先の大震災を機に大地震対応型の製品が登場しました。地域性により普及のスピードは異なりますが各地で進んでいる状況です。  
今後もこのような耐震・耐久性の向上などの付加価値を付けた製品を顧客に対してリーズナブルに提案することで地域発展に貢献したいと考えています。  
最後になりますが、広土会の益々の発展と広土会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

卒業生だより



「工大6期生40周年の集い」

6期生代表幹事  
右近 元昭(6期生)

平成26年7月26日、ホテルセンチュリー21広島で、「工大6期生(昭和45年入学～)40周年の集い」を開催しました。  
鈴木健夫先生、島重章先生の先生方をはじめ、関東・関西・四国・九州方面からお忙しい中で参加していただき、総勢28名で「工大6期生40周年の集い」が盛会裏で終りましたことを大変感謝しております。

当日の広島は、マツダズームズームスタジアム広島で「広島対阪神戦」、宇品港で「広島みなと夢花火大会」があり、広島駅はもとより広島駅周辺は大変な人ごみで、広島全体が賑わった「おいしい 広島」の夜でした。  
式の始めにあたり恩師・学友の物故者の黙とうを行い、引き続き、代表幹事の開会のあいさつ、来賓先生のご祝辞、乾杯で懇親会に入りました。  
ご祝辞・乾杯では、老いてもまだまだお元氣な鈴木先生、島先生から過去の経験を生かし、悔いのない人生を歩むことの大切さを教えていただきました。  
引き続き懇談の合間に出席者からの近況報告！  
・再就職して現役のときよりもさらに頑張っている方  
・東日本震災にボランティア活動に参加し、その経験を活かして精力的な活動をされている方  
・農業や林業、町内会に精を出されている方  
・親の介護や孫たちの世話をしている方  
など、様々な人生を歩んでおり、還暦の60歳過ぎた今も元氣な皆さんから多くの活力をいただき、人生の大切さを痛感した次第です。  
その後、ハッピー抽選会などを行い、あっという間に予定の2時間が過ぎて閉会しましたが、皆さん大いに楽しく過ごせた懇親会であったことと存じます。  
改めて出席いただいた皆さんに対しまして感謝いたします。  
今回は50周年(古希を過ぎた年齢72歳)を考えており、今後とも健康には十分留意されて、10年後に皆さんと元氣な姿で再会したいものです。  
最後になりますが、皆さま方の益々のご健勝をお祈りするとともに広島工大の益々のご発展を祈念します。



集合写真

16期生卒業30周年記念同窓会報告



16期生代表幹事  
弘 英雄(16期生)

平成26年7月12日早朝いよいよワクワクする長い1日の始まりです。自宅を出発して1時間程で、アイランドゴルフガーデン美和に到着。クラブハウスに入ると早朝のため静かなロビーの中で一角だけ騒がしテーブルがありました。どうもそのテーブルらしく事前にメンバー表をもらっていたおかげで名前と顔が一致しましたが、時とは恐ろしいもので変わりようにびっくり仰天。  
肝心のゴルフは天候にも恵まれ上手な組とそれほどでも無い組に分かれスタートです。どうして私の実力を知っていたのか定かではありませんが、当然後者の組の方でした。

お互い昔話を出しては、足を引っ張り合いながら、30年前と変わらぬ時を過ごしました。  
夜の部、祝賀会はひろしま国際ホテル「東風」で開催され、受付の段階で今度は朝と違い、白くなった者、うすくなった者、それ以上の者、成長した者等、ごった返した中、卒業後ほとんど交流の無い私にとって名前と顔が一致しない状態がしばらく続きました。  
開会に先立ち、同窓生で他界された2名の冥福を祈り、参加者全員で黙祷の後、高木会長の挨拶から始まり、来賓の鈴木先生、島先生、中山先生の懷特別講義を拝聴し祝賀会はどんどん深まって行きました。会場は大変盛り上がり、皆懐かしい顔を見つけては、昔話から近況まで話題に事欠くことなくあっという間に2時間が経ってしまい一次会終了です。  
残念ながら、翌日用事のある私は二次会に参加できなく、一人さみしくビール片手に新幹線に乗り込み、今日一日を思い出し、また、いつか会えることを願いながら帰路に着きました。その後の二次会、三次会は十分想像できる内容であったことは間違いないでしょう。

こうして、30周年記念同窓会は終わったわけですが、この行事を機にこれまで以上に同期生の交流が深まるとともに、同期生、恩師の先生方のご健康と活躍並びに広土会の益々の発展を祈念し、同行事の報告と致します。  
最後に、ご臨席いただいた先生方、この行事の準備から進行役までやってくれた実行委員会の皆さんに深くお礼申し上げます。

|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 日 時 | 平成26年7月12日(土)                   |
| 場 所 | アイランドゴルフガーデン美和<br>ひろしま国際ホテル「東風」 |
| 来 賓 | 鈴木先生、島先生、中山先生                   |
| 卒業生 | 28名                             |



集合写真

事務局だより

広土会の活動は会員の会費納入で運営されています。会費未納あるいは期限切れの方はこの点を御理解いただき、会費の納入をよろしくお願い致します。  
広土会のホームページのアドレスは下記のとおりです。広土会45周年記念事業等を閲覧するには、パスワードが必要となっております。入力間違いないようお願いいたします。  
また、広土会新聞は会員の情報誌です。今年度は、7期生ー40周年、17期生ー30周年、27期生ー20周年、37期生ー10周年を迎えます。記念祝賀会等を行われる場合には事務局にご連絡をいただければご協力いたします。  
皆様からの情報、ご意見、ご感想をお待ちしております。FAX、またはメールでご連絡下さい。

HPアドレス: <http://www.kodokai1968.jp/> パスワード: kodokai2014  
FAX (082) 921-8976 E-mail: kodokai@cc.it-hiroshima.ac.jp

明るく伸びる

株式会社 伏光組

代表取締役 伏見光暁

本社 〒734-0013 広島市南区出島1丁目33番61号  
TEL (082) 253-6161 FAX (082) 254-4581  
(支店) 松江 (営業所) 三次・世羅

道路埋設指針 建設大臣認定擁壁

PCボックスカルバート ザ・ウォール(H=5.0m)

株式会社 マシノ

|        |                           |                    |
|--------|---------------------------|--------------------|
| 本社     | 〒739-0822 広島市西区庚午中1-19-23 | (082) 507-2757 (代) |
| 東広島営業所 | 〒739-2312 東広島市豊栄町別府270    | (082) 432-4132 (代) |
| 福山支店   | 〒720-0805 福山市御門町2-5-39    | (084) 925-8855 (代) |
| 山口支店   | 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1130  | (083) 973-3533 (代) |
| 山陰支店   | 〒695-0003 島根県江津市松川町下河戸188 | (0865) 55-0124 (代) |
| 本店     | 〒699-5133 島根県益田市神田町口615   | (0866) 25-2380 (代) |
| 工場     | 広島・江津・益田                  |                    |

洋ようと 伸びのびと 夢をかたちに

洋伸建設株式会社

代表取締役 木森 卓史

本社 〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 TEL(082)511-4520  
アーバン・ビュ・グランドタワー7F FAX(082)511-4521  
営業所 福山・呉・廿日市・山口・四国・九州  
事業所 黒瀬  
ホームページ <http://www.yoshin-const.co.jp/>

ヒューマン・コンシャス。それがわたしたちの原点です。

MASUOKA Architectural Contractors Inc.

株式会社 増岡組

広島本店 / 〒730-0045 広島市中区鶴見町4番25号 TEL 082-504-5050  
呉本店 / 〒737-0051 呉市中央1丁目6番28号 TEL 0823-21-1441  
<http://www.masuoka-g.co.jp/>